



会 報 誌

シルバー



おおさかさやま

発行 2026年/令和8年7月

公益社団法人 大阪狭山市

シルバー人材センター

〒589-0021 大阪狭山市今熊1丁目103-1

Tel: 072-366-2277 Fax: 072-366-3566

E-Mail: os-silver@osaka-sayamasc.or.jp



「大阪狭山市立図書館・公民館」

目 次

編集後記	永年就業会員紹介	豆知識	同好会だより	健康・安全	活動報告	熱中症見舞金制度	役員・委員・職員紹介	事務局だより	大阪狭山市議会議長	大阪狭山市長	総会祝辞	総会理事長挨拶
8	8	7	7	6	5	4	4	3			2	2



総会開会挨拶

理事長

古根川 保

公益社団法人大阪狭山市シルバー人材センター令和8年度定時総会の開会にあたり、ご挨拶申し上げます。

国が策定した新たな「高齢者等職業安定対策基本方針」では、シルバー人材センター事業の活性化等による多様な就業機会や高齢期の幅広い活躍の機会の提供が掲げられています。一方で、企業における「70歳までの就業機会確保」が努力義務となり、当センターでも平均年齢の上昇に対応した運営が求められる中、地域に根ざした「自主・自立・共働・共助」という理念がこれまで以上に重要視されています。

また、活動において何よりも優先すべきは「安心・安全な就業」です。高齢者の労働災害防止に向けた国の指針も強化されているため、会員の皆様におかれましては、熱中症対策を含む日々の健康管理に十分留意され、無理のない範囲で安全第一に活動していただきますようお願いいたします。

皆様の活動は地域の活力を維持するために欠かせない大きな力です。「シルバーで働く」とが、自身の健康と地域の笑顔につながる」という喜びを分かち合えるセンターを目指し、今後も役職員一丸となって取り組んでまいります。

結びにあたり、会員の皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。



総会祝辞

大阪狭山市長

古川 照人

令和8年度定時総会が開催されますことを心よりお喜び申し上げます。平素より大阪狭山市シルバー人材センター様におかれましては、会員の皆様が長年培われた豊かな知識や経験を活かし、市内の清掃活動や施設管理をはじめとした多岐にわたる事業を通じて、本市の地域社会の発展と活力向上に多大なるご貢献をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

今、私たちが生きる「人生100年時代」においては、高齢期をいかに過ごすかが重要なテーマとなっています。社会参加の機会が減少しがちな高齢期において、仕事を通じた社会とのつながりは、定期的な外出や他者との交流を生み出し、心身の健康を保つための契機となります。

「自主・自立・共働・共助」の理念のもとに、皆様が働く喜びを分かち合い、元気に活動されている姿は、本市の高齢者福祉の大きな支えであり、市民の皆様にとっても心強い存在です。

本市といたしましても、皆様が安全・安心に、そして生きがいを持って就業できる環境づくりに引き続き全力を尽くしてまいります。むすびにあたり、貴センターの今後さらなるご発展と会員の皆様のますますのご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。



総会祝辞

大阪狭山市議会議長

鳥山 健

市議会議長に就任いたしました鳥山でございます。今後ともよろしくお願いいたします。公益社団法人大阪狭山市シルバー人材センター令和8年度定時総会が、多くの会員の皆様のご参加のもとで盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

理事長をはじめとする役員・会員の皆様におかれましては、高齢者の就業機会の提供や幅広い事業活動を通じ、健康で生きがいのある生活の実現、そして活力ある地域社会の発展にご尽力いただいておりますことに、感謝と敬意を表する次第でございます。

高齢化が進むわが国では、多くの高齢者が働きながら充実した生活を送る「生涯現役」の社会が広がっています。これに伴い、シルバー人材センターが地域で果たす役割や期待は重要となるとともに、今後さらに高まっていくものと感じております。

市議会といたしましても、意欲のある高齢者の皆様の経験豊かな技術を生かして活躍できる環境づくりや仲間づくり、そして地域社会への参加を応援してまいりたいと考えております。

結びに、大阪狭山市シルバー人材センターの今後益々のご発展と、本日ご列席の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



事務局だより

令和8年度 定時総会開催される

令和8年5月28日(木)午後2時から、大阪狭山市立コミュニティセンター4階大会議室において、令和8年度公益社団法人大阪狭山市シルバー人材センター定時総会が開催されました。

会員数335名中、出席者36名、議決権行使者228名の合計264名により開催されました。

古根川理事長の主催者あいさつの後、公務ご多忙の中、大阪狭山市長の古川照人様、大阪狭山市議会議長の鳥山健様にご臨席賜り、ご祝辞をいただきました。

議事に移り、議長に榮枝氏を選任し、上程された議案4件、報告4件について、原案のとおり可決、承認され、芝本副委員長より閉会のあいさつをしていただきました。



議案第1号

令和7年度事業報告について
受注件数894件
契約金額は約1億1,362万円
(対前年度比約1.01%減)

議案第2号

令和7年度決算報告及び監査報告について
経常収益は約1億4,741万円、経常費用は約1億5,057万円で、当期経常増減額は約315万円の減となりました。

議案第1号、議案第2号が一括上程され、監査報告の後、それぞれ承認されました。

議案第3号

定款の一部変更について
理事会運営の充実・強化を図るため、役員体制の見直しなど所要の変更を行いました。

議案第4号

役員の選任について
令和8・9年度の役員について提案され、承認されました。

報告第1号

令和8年度事業計画について

- (1) 会員の拡大と普及啓発活動の推進
- (2) 就業機会の確保と適正就業の推進
- (3) 安全就業と健康管理の推進
- (4) 研修・講習会の実施
- (5) その他



報告第2号

令和8年度収支予算について
収支予算額は、9,527万5千円です。

報告第3号

令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて

- (1) 資金調達の見込みについて
- (2) 設備投資の見込みについて
いずれも予定はありません

報告第4号

配分金支払規約の一部改正について

芝本新理事長のあいさつ

この度、古根川前理事長の後任として理事長に就任いたしました、芝本でございます。
微力ながら、諸先輩方が築き上げてこられました理念をしっかりと受け継ぎ、役員・事務局職員が一丸となって、当センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」に基づき、当センターのさらなる発展に向け邁進していく所存です。

会員の皆様が持つ豊富な知識や経験を存分に発揮し、就業を通じて豊かで活動的な生活と生きがいの充実を図り、活力ある地域づくりに寄与してまいりたいと考えております。
皆様におかれましても、当センター事業のさらなる発展のため、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

令和8・9年度役員紹介



理事長

芝本 渡



副理事長

大北 哲



副理事長

永島 悟



理事

塚本 哲夫



理事

奥村 孝行



理事

倉田トヨ子



理事

青山 恵二



理事

林 悦子



理事

山崎由紀子



理事

大久保和義



理事

久保美佐子



理事

山本 高久



監事

松本 善造



監事

宮崎 知右



監事

高井 悟

新事務局職員の紹介



職員

成松 一人



職員

藤原 律子



事務局長

山本 泰士

新広報委員の紹介



広報委員

内野 ヒロミ



広報委員

津村 知彦



広報委員

豊岡 賢二

熱中症見舞金制度について

全国シルバー人材センター事業協会が実施する見舞金制度で、シルバー人材センターが提供した仕事に従事中（就業先への往復途上を含む）に熱中症になり、死亡、入院、通院した場合に見舞金が支払われる制度です。
詳しくは、事務局に問い合わせてください。

定期健康診断を

受診しましょう

快適な毎日を送るためには、日頃から健康に気を付けなければなりません。自分だけは健康だと思っ
ていても、気付かないうちに病気に
かかってしまう場合があります。

また、健康診断は自身の健康状況を把握し、安心して就業できる
バロメーターでもあります。

自覚症状がなくても、年に一度は必ず健康診断を受診するように
しましょう。

活動報告

●安全講習会

令和8年2月19日(木)、大阪狭山市立コミュニティセンター4階大会議室にて、令和7年度第2回安全講習会が開催され、当時は32名の会員が参加されました。

講習会では、大阪狭山市地域包括支援センター岩橋様(保健師)と天見様(社会福祉士)を講師にお迎えし、「認知症サポーター養成講座」として、認知症を取り巻く現状をはじめとする基礎知識や早期発見につながるチェック方法、さらに日常生活で取り組める予防のポイントについて、丁寧で分かりやすくご講義いただきました。



狭山池まつり

令和8年4月26日(日)
狭山池堤内



店舗前啓発活動

令和8年6月23日(火)
コノミヤ・麒麟堂

オークワ



スマホ講習会

令和8年2月6日(金)
ワークプラザ2階



植木剪定講習会

令和8年2月9日(月)
西山霊園



健康・安全

定年後の『静寂』を、

『新しい役割』に変えるために

「お疲れ様でした」。長年、第一線で戦い抜いたその日に、拍手とともに訪れたのは、今まで経験したことのない『静かな時間』だったのではないのでしょうか？

趣味もない、話し相手は家族だけ。気がつけば一日中誰とも言葉を交わさず、テレビの音だけが響く――。そんな毎日が、知らず知らずのうちに、心と脳のエネルギーを削っているとしたら、どうでしょう。

実は、私の母もそうでした。

苦勞して働き続け、引退した後訪れたのは「孤立」でした。難聴に気づかないまま挨拶をされても聞こえず、「無視された」と思い込んでしまう……。そんな寂しさが重なり、今ではアルツハイマー型認知症を患っています。

母の姿を近くで見守ってきたからこそ、確信していることがあります。「誰かと繋がる」ことは、単なる楽しみではなく、心と脳の健康を守るための、最も大切な「医療」なのです。

「心の窓」を少しでもだけ開ける、3つのヒント

1. 「外」の刺激を脳へ

目的は立派な趣味でなくていいのです。近所を散歩するだけで、脳には新しい情報という刺激が届き、活性化のスイッチが入ります。

2. 独り言を「声」に変える

会話がないと、言葉を操る力は錆びついてしまいます。テレビやラジオに「そうなんだ」と相槌を打つだけで、脳は「会話」をしていると認識します。

3. 挨拶は、最強の「生存確認」

何を話せばいいか迷ったら、挨拶だけで100点満点です。近所の方への「こんにちは」は、相手にあなたの存在を伝える、何よりのコミュニケーションです。

最後に

「役割」を終えた今、あなたが担う一番大切な役割は『あなた自身を元気に保つこと』です。

シルバー人材センターでの活動は、特別な能力を披露する場所ではなく、「誰かと一緒にいること」を共有する場所です。

昨日までは一人でも、今日から誰かと繋がるができます。まずは、今日一日、誰かに『挨拶』をすることから始めてみませんか。精神保健福祉士として、皆さんの地域での「笑顔」がこれからも続くことを、心から願っています。



カラオケ同好会

豆知識

ゴルフ・カラオケに興味をお持ちの方は、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

ストレスなく、穏やかな気持ちでゆつくりと食事を摂るように心掛けましょう。

永年就業会員の声



近藤 茂さん
78歳

◆シルバー会員10年の歩み（入会后、経験された就業職種内容は？）

入会后すぐに高齢者家庭の清掃や庭園の除草、駐車場の管理、枯葉の清掃等の仕事につき、その後希望していた学校関係の仕事を紹介していただきました。仕事の内容としては、小学校登下校時の安全管理と職員室の清掃等々。当初5年、その後2年ほどのブランクを経て、再度学校関係の仕事につき3年、都合8年目にはいりました。

◆就業中印象に残ったこと

学校の下校時に、悪気はないが集団行動が苦手な悪戯児童と車のニアミスがあり「ヒヤリ。ハツとした」ことがあります。悪戯好きな子、やんちゃな子ほど可愛くて特に印象に残っています。

◆就業を通して得たもの

職場まで歩いて仕事に通っているの身体もなまってこないし、学校でいろんな人との会話も楽しめ、児童から「おっちゃん」と呼ばれると元気も出てきます。

◆就業を通して感謝されたこと

卒業式前にPTAの方からお礼の手紙をもらったり、子供の書ききのメッセージを全校生徒の前で読んでくれたりしたことがあり、それがやはり嬉しいですね。

◆今後後進に伝えたいこと

自分の健康が第一。ついで人に喜ばれるよう率先して仕事に励み、積極的に他人とお話してください。

◆その他（人物紹介）

人材センター登録前の現役時代は無口だったという話が信じられないくらい、包容力があり、話がしやすい雰囲気は自然と作られる、笑顔良しの方です。

就業中



編集後記

水分補給、見直してみませんか？

今年の夏も暑い日々が続いています。水分補給については、皆様心がけていることと思いますが、何で補給していますか？

スポーツドリンクで補給されている方、コンビニでよく目にするスポーツドリンク500mlには約30gの糖分が含まれています。これは、世界保健機関(WHO)が推奨する成人の摂取量の目安(一日25g以下)を上回る量です。

糖分の多い飲料を短時間に大量に飲むと血糖値が急激に上昇します。こうした状態が続くと、インスリンの働きが追いつかなくなり、高血糖状態になることがあります。高血糖になると、尿として糖を排出しようとして尿量が増え、脱水が進むため、強い喉の渇きを感じます。

暑い時期は、こまめな水分補給が必要ですが、スポーツドリンクや清涼飲料水を控えて、『水や麦茶』など、糖分の含まれない飲み物を積極的に摂るようにしましょう！

